

11月の果実の見通し

| 区分 品目 | 入荷量(t) | | | 単価(円/kg) | | | 山形県産前年実績 | | コメント |
|------------------|--------|------------------|-----------|----------|------------------|-----------|------------------|------------------|--|
| | 前年実績 | 前年比 見込 (%) | 5カ年 平均 | 前年実績 | 前年比 見込 (%) | 5カ年 平均 | 前年 入荷量 (t) | 前年 占有率 (%) | |
| みかん類 | 20,154 | 115 | 22,230 | 243 | 92 | 213 | 0 | - | 愛媛、熊本、長崎、佐賀、和歌山産中心で全体の9割を占める。11月からは早生みかんとなる。愛媛は玉太りよく、M中心だがL比率も高い。熊本、長崎は玉太りよく糖度も高く、安定した出荷ペースとなる。全体の入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。 |
| りんご類 | 8,567 | 70 | 9,164 | 254 | 120 | 239 | 2,891 | 33.7 | 青森、山形、長野産中心の入荷となる。品種はふじが約7割を占め、ジョナゴールド、王林など種々出揃う。各産地ともに前年の猛暑で花芽が少なく、大雪の影響もあり生産量は大幅減の見込み。全体の入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。 |
| かき類 | 6,491 | 100 | 7,703 | 327 | 76 | 242 | 409 | 6.3 | 新潟、奈良、和歌山、福岡産が中心となる。品種は富有柿、平種無柿、次郎柿など。新潟は肥大良好で11月中旬がピークで月末まで入荷。奈良は全体に小玉傾向。和歌山は切り上がり及早まり数量減の見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年を大幅に下回る見込み。 |
| 西洋なし (ラ・フランス) | 1,148 | 100 | 1,261 | 309 | 85 | 275 | 1,141 | 99.4 | 山形産中心の入荷でほぼ10割を占める。山形は着果数量は平年並みだが、昨年同様小玉傾向(Mサイズ18玉中心)となっている。夏場の高温でデンプン蓄積量が多く、高糖度の仕上がり期待できる。全体の入荷量は前年並、価格は前年より大幅に下回る見込み。 |
| メロン類 | 769 | 100 | 827 | 575 | 102 | 597 | 4 | 0.5 | 熊本、静岡、茨城産が中心となる。品種はアールス、アンデスなど。熊本は作付面積は前年並みで生育は順調、この時期のアンデスのほぼ全量を占める。静岡はアールス主体の出荷となり全体に生育は順調、6玉8~9kg台中心の見込み。全体の入荷量、価格とも前年並の見込み。 |
| ぶどう類 | 519 | 90 | 527 | 769 | 101 | 705 | 14 | 2.7 | 長野、青森、山梨、岡山産が中心となる。品種は巨峰、スチューベン、アレキサンドリアなど。長野の巨峰は貯蔵ものとなり中旬までは減りながら推移し11月いっぱいの見込み。青森のスチューベンは全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並の見込み。 |
| いちご類 | 426 | 105 | 643 | 1,729 | 95 | 1,676 | 0 | 0.0 | 栃木産が約6割を占め、福岡、静岡、佐賀産などが入荷する。栃木は生育は順調で11月中旬から増量し、年内の出荷量は全円を上回る見込み。福岡は生育順調で11月10日頃から入荷スタート予定。入荷全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。 |